

共同記者発表における岸田大臣発言

- 本日、ハッタ経済担当調整大臣との間で、ジャカルタ首都圏投資促進特別地域(MPA)第4回運営委員会を開催しました。
- MPAは、ジャカルタ首都圏のインフラ整備を促進し、インドネシアの経済発展を後押しするとともに、日本企業にとっての投資環境を整備するものであり、両国にとって win-win となる象徴的な協力プロジェクトです。今回、このプロジェクトの促進を両国閣僚レベルで確認できたことは、日インドネシア二国間の戦略的パートナーシップ強化のため、大きな意義を有するものと考えます。
- 具体的な成果としては、まず、ジャカルタで初めての地下鉄となるMRTの着工、ジャワ島の高速鉄道の事業化調査(F/S)の実施等、主要なインフラ事業の進展を確認するとともに、一層加速化することで一致しました。また、日本企業の期待が大きいチラマヤ新港湾の早期整備を含め、重要事業の促進につき確認しました。
- また、総額約1400億円の円借款の事前要請が出されているMRT南北線、東西線及びジャワ・スマトラ連携送電線事業について、正式な要請が出されれば、我が国として前向きかつ速やかに資金供与の検討を行う旨表明しました。これに対してハッタ大臣からは、速やかに要請を行いたいとのご発言がありました。
- 今回の成果に沿って、今後も、両国で緊密に連携し、MPAを積極的に推進していきたいと考えています。

(了)